

genre:Gray

利己的物体と奉仕的肉体によるグロテスク

顔のモノノシリ

Ku in Ka extra



傀儡女が手を添えると、「顔」は、
精一杯生きてきた幾通りもの時を溢れるように語り出す。
今日は「踊り子」が語りだした。
「顔」が「踊り子」だった時、その時のあのことを語り残しているから
「顔」は眠れない…。

現代の傀儡女と称される黒谷都が、布の造形作家・松沢香代と出会い、
それが成りたいように形づくり、それが違いたいように手を添えて、
二人の共働き「Ku in Ka progressive note」は続いています。
「extra」は、チェロ奏者・坂本弘道の奇想と楽想が錯綜する
蜃気楼のような演奏と共にお届けします。

顔人形1体と自らの衣装を遣い、束の間の命を遊び、魂送りする。
首尾よろしければ「顔」は語り終わり、「踊り子」は永遠へと還っていきける…。

9月25日[日]14:00

※開場は開演の30分前です。 ※アフタートーク開催

損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール

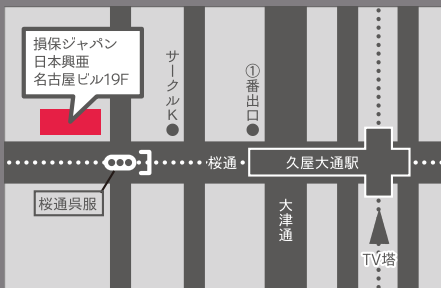
前売 ¥2500 当日 ¥2800

演出：西村洋一 | 人形・衣装美術：松沢香代 | 椅子：渡辺数憲 | 照明：しもだめぐみ
人形遣い：黒谷 都 | チェロ演奏：坂本弘道

genre:Gray

2002年、黒谷都が提案した「利己的物体と奉仕的肉体によるグロテスク」を遣い手の基流としつつ、それぞれに「人形 / モノと遣い手」が共に且つ多様に存在する視覚的表象行為を探る集まりです。

「国立ラボ」を拠点に、「遣い手と人形 / モノ、それぞれの身体」を他ジャンルと異なる独自のものとして「遣い手」という在り方を追求しつつ、近年は、活動の場を世界に広げつつ、美術家や「月の娘たち」他WS参加者など広範囲な仲間と親しく協働しています。



【ひまわりホール】
名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン日本興亜名古屋ビル19F
TEL: 080-1137-9733

※名古屋営地下鉄久屋大通駅
西改札1番出口より徒歩3分
※駐車場はございません。公共交通機関もしくは最寄りのパーキングをご利用ください。

【チケット取り扱い】

- 特設WEBサイト <http://aichi-puppet.net/aichitriennale2016/>
- 『人類と人形の旅』チケットセンター(人形劇団むすび座内) 電話070-1467-6015
- チケットぴあ [Pコード: 451-563]
電話0570-02-9999 WEB <http://w.pia.jp/p/aichitriennale16/>
※チケットぴあ、サークルKサンクス、セブンイレブンの店頭でも販売。

虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ2016
並行企画事業

『人類と人形の旅』
human with puppet
8月11日～10月23日

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター <http://aichi-puppet.net/>
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 8F
TEL: 052-212-7229 FAX: 052-212-7309 mail: mail@aichi-puppet.net